

## 平成27年 県政10大ニュース

広報課

今年の主な県政の動き（事業、出来事等）やそれに関わる重要な出来事の中から、将来に向けて夢や希望を与える出来事、県民幸福量の最大化に資する出来事、県政課題の解決に向けて取組みを積極的に進めたものを選びました。

## ◎ラグビーワールドカップ2019日本大会の熊本開催が決定〔3月〕

～12月に本県で開催されたラグビー・トップリーグは、地方開催で史上最高の観客動員数を記録  
女子ハンドボール世界選手権大会のシンボルマーク決定に加え、  
おもてなし向上セミナーの開催など、2019年大会に向けて準備を本格化～

## ◎九州を支える広域防災拠点構想の着実な推進〔3月、4月〕

～南海トラフ地震発生時の「大規模な広域防災拠点」として阿蘇くまもと空港が、  
また、国の現地対策本部設置候補施設として熊本地方合同庁舎が選定  
中九州横断道路など“すべての道は熊本に通じる”幹線道路ネットワーク整備が加速化～

## ◎全国初となる「地下水と土を育む農業推進条例」が施行〔4月〕

～くまもとの宝である地下水と土を農業の力で100年先の未来へ引き継ぐため、  
県民運動の展開やグリーン農業のさらなる推進など県民協働による取組みが進展～

## ◎本県に世界文化遺産（「万田坑」「三角西港」）、日本遺産（人吉球磨地域）が誕生〔7月、4月〕

～観光客の増加等による地域活性化や宝の磨き上げにつなげる施策を展開  
来年は「天草の崎津集落」が世界文化遺産に  
「阿蘇」について、まずは暫定一覧表入りを目指す～

## ◎新たな国際航空路線が就航（台湾高雄線、香港線）、国際線3路線へ拡大〔10月、12月〕

～ソウル線以来12年ぶりとなる新規国際線定期便として台湾高雄線が就航  
新たな活動拠点として事務所を開設した香港との定期便も実現し、一気に3路線へ拡大～

## ◎「熊本県人口ビジョン」及び「熊本県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定〔10月〕

～人口減少を克服し、幸せを実感できる“くまもとライフ”を実現するための総合戦略を策定  
産官学金労言の関係者など県民一丸となり、オール熊本で地方創生にチャレンジ～

## ◎公共関与産業廃棄物管理型最終処分場（エコアくまもと）が落成〔11月〕

～地元の理解と協力を得ながら進めたクローズド・無放流型の「エコアくまもと」が南関町に完成  
当該施設の屋根を利用し、「くまもと県民発電所」第1号の太陽光発電事業がスタート～

## ◎担い手への農地集積がさらに進展〔通年〕

～全国に先駆けて取り組んできた農地集積をさらに推進  
嘉島町全体を範囲とした九州最大、全国でも最大級のメガ法人も誕生  
「稼げる農林水産業」を実現する礎となり、H26年生産農業所得は九州1位、全国4位に～

**◎八代港における大型クルーズ船寄港の大幅増加〔通年〕**

～八代港に 10 隻の大型クルーズ船が寄港し、中国や台湾から 3 万人を超えるツアー客が来訪～

**◎日本、そしてアジアをリードする認知症施策の推進〔通年〕**

～認知症サポーターの養成率が 6 年連続日本一を達成

日本初、運転免許センター適性相談窓口に看護師を配置、認知症の早期発見に取り組む  
アジア認知症学会で「熊本モデル」と呼ばれる認知症医療体制等が高評価～

**【プラス1項目】**

**◎新たに広がるくま蒙の世界〔通年〕**

～くま蒙は香港、台湾、タイなどアジアをはじめ、アメリカ・ヨーロッパでも大活躍

くま蒙バージョンの英和・和英辞典の登場など、くま蒙のフロンティアがさらに拡大～